

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	11 国際関係
中項目	
小項目	11.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	11.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 英語コミュニケーションを体系的に学習するためのカリキュラムの構築	→英語コミュニケーション科目のカリキュラムの設定・構築状況	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

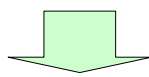
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目 11.0.1	(現状説明) 自治体会計コースでは、NPMの海外事情を調査することを目的に、NPMの先進国イギリスにおいて、自治体行政経営の先駆的実績を上げている次の2つの大学院・研究機関と協定を締結している。
☆ 小項目 11.0.2	(現状説明) 自治体会計コースでは、学生の短期留学やイギリスからの講師招聘、共同研究、海外エクステンションでの訪問などが推し進められている。
☆ その他	

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

☆ 小項目 11.0.1	
小項目 11.0.2	
その他	



#### 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

☆ 小項目 11.0.1	
小項目 11.0.2	
その他	

## ◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目 11.0.1	
★ 小項目 11.0.2	
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目 11.0.1	
★ 小項目 11.0.2	
その他	

## ◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★ その他 (自由記述)	

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 小項目11.0.1の現状説明で、「次の2つの」とあるが、その記述がないようです。また、現状説明は、いずれも自治体会計コースに関するものだけです。なお、小項目11.0.1は、国際交流の方針に関するもので、大学レベルの方針に準じている場合でも、その旨を記述しておくのがよいと思います。
- 目標に対する進捗評価が「D」となっている項目について、改善すべき事項に次年度どのように改善するかの記事を期待します。
- 教員の国際交流活動はいかがでしょうか。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 会計に関する国際的な教育水準に従って、グローバルな視野を持った世界に貢献し得る職業会計人を養成することを目的とする。
- ★ ○バーミンガム大学地方自治体研究所とロバート・ゴードン大学アバディーン・ビジネススクールと連携している。
- 既に開講している「ビジネスコミュニケーション」の内容、水準の実態を把握する。